



八女市吉田
橋爪 紀子

退職後の楽しみにと水墨画を始めて十数年になります。初めは何を描いても哀れな作品ばかりでしたが、六年目頃から調墨のコツが少しずつ分かるようになってきました。

九年前、中島先生の勧めで初めて八女市展に応募し入賞した頃から、墨の香りに包まれて静かに筆を取る時間がとても貴重に思えるようになりまし。

「クリスマスケーキ講習会」

八女農業高等学校

八女農業高校では社会人の方に来ていただいて、プロの技術を教えてもらうという授業を行っております。今回は八女市津江にある「お菓子作り教室」の牛嶋頼依子先生を招いて、生活科学科3年「調理」選択者19名を対象に、お菓子作り講習会を行いました。

今回はクリスマスケーキを作りました。スポンジケーキを1人1台ずつ焼き、フルーツやお菓子を生徒それぞれが考えて準備し、デコレーションしていきました。スパチュラというクリーム用のナイフで塗るとき、クリームをまっすぐにするのが難しかったようです。

牛嶋先生から「短時間でしたが、あわただしくも何とか作り上げました。次に作る時には、本日学んだ、生クリームの使い方、スポンジのカットの仕方を思い出してください。それぞれ力作ぞろいでした」という言葉もいただきました。



出来上がったケーキは箱に入れ、それぞれの自宅に持ち帰り、家族で楽しみます。

1月の校内販売所(八女農みらい館)の開館日

1月 7日(火)、1月10日(金)、1月14日(火)、1月17日(金)、1月21日(火)、1月24日(金)、1月28日(火)、1月31日(金)
販売時間は、10時30分～12時30分です。
多くの皆様のお越しを心からお待ちしています。

今の一冊



(A5判109頁)
¥1,000(送料込)

人は悲しみに打ちひしがれた時どうしたら再起できるか。この本を出した渡辺義幸さん(83歳)は最愛の息子幸一君を不慮の自宅火災で亡くした。一時は茫然自失、奥さんと涙するだけの日々だったという。半年ほど経った頃、残された僅かな思い出の写真や遺品を整理しながら、それらを一冊の本にまとめることを思い立ち、生きる一筋の明かりを見出した。

結婚12年目60歳にして初めて授かった宝が、友人たちと成人式を祝った8日後に旅立った。前途洋々、大きな可能性を秘めた青年が生まれた20年の証である。上陽町で生まれ育った幸一君は、多くの友人たちに恵まれ伸び伸びと育ち、高校では文芸部に所属し、大学では吹奏楽部に入学した。テナーサックスを担当、大学生活を謳歌していた。本にはサークルの演奏会の写真や高校文芸部時代の作品の一部も収録されている。

この本を手にとってもう一人がいる。幸一はどこかで生き続けている姿を、息子に重ねて夢を持つことができるかと結ばれている。1月23日には3回忌を迎える。ご希望の方は
渡辺義幸さん
☎0901250017789

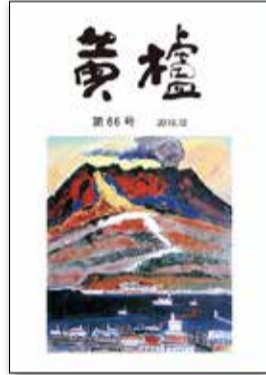
◆1月のイベント案内◆

- 筑後市立図書館 ☎0942-51-7200
 - 毎週土曜日おはなし会
11:00～ 幼児から小学生対象
1月4日は休館日
 - 新春特別企画!
「福引付き本の福袋」
大人用と子ども用があります。
福袋を持ってカウンターで貸出手続きをしてください。
設置期間 1月5日～1月26日
福引引換期間 1月28日～2月11日
- 1月23日(木) 9:30～
ゆっくり読書タイム 要予約
託児申込・未就学児まで
- ブックリサイクルWITH絵本の譲渡会
1月30日～2月2日
- 広川町立図書館 ☎0943-32-1163
 - 定例お話会
1月11日・1月19日 10:30～
 - かっちゃんこ
1月15日 11:00～
絵本コンシェルジュによる赤ちゃんと保護者への読み聞かせ

新刊本 ご紹介



¥550(税込)



送料各120円 ¥1,000(税込)

年賀本には安部龍太郎氏が「青春の日々」、麻生渡氏が「美しい雅子皇后陛下」と題して特別寄稿されています。
黄檗66号には90歳越えの会員さん4名をはじめ34名の原稿が収録されています。心と時間にちょっと余裕ができた時に読んで頂きたい1冊です。

ご希望の方は 人生史サークル 黄檗の会 事務局 東迄 ☎0943-24-2111

クラッシー文芸

- 筑後俳句会
名を呼べは隠るるインコ冬隣
海近き駅舎に集ふ帰燕かな
席埋まる程の芝居や村祭
除草削逃れて石路の花明り
秋麗や白寿の舞に惹き込まれ
ゆるゆると今日一を穴まどひ
一村を燦らせ豊の田を仕舞ふ
学童の人形浄瑠璃文化の日
白谷きよみ 平 昌恵 辻 八重子 永田 富子 植生 洋美 水本 辰次 水本 艶子 浅田つき子
- 黒木町くすの実句会
一強の国が殖えゆく冬が来る
夢断たる医師の棺や虎落笛
少女期はないないづくしふかし芋
寺田 睦子 吉泉 守峰
- 紙門松毎年市より届けられ
とりあえずお湯わかすなり冬厨
旧姓の人と逢ひけり冬銀座
春待たず他国に散りし医師の神
青木 早弓 松尾アサ子 松尾満留美 栗山 豊秋 東野 蓉子
- 立花短歌会
街路樹にマロニエのあるフランスよ友と歩いた研修の旅 鶴 隆治郎
柵破り進入したる猪の仕業収穫時のキウイの惨事 橋本 泰州
取り入れも終わりて友と湯の宿に疲れやすらぐ旅のひとつとき 松尾ミサキ
遥か洋上サイパン・ゴムに手を合わす豪州の旅帰国の機内 井上 精
この夏に我が家を巣だつたつばくらめ長い旅路は南の国か 田中たつじ
旅先の層雲峡の初雪に杖にすがりて歩きたる事 中島 睦美
友三組炭酸水汲む小旅行九重の山は秋の入口 野中 裕政
生前の夫と旅した土地へ行く月日過ぎれば旅愁覚える 鶴 邦子
新聞にツアー旅行のチラシあり行けなくもなし 櫻木 敦子
孫と行く短い旅の新幹線あつという間に着く目的地 樋口 愛子